

新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案の発生について
（医療法人せいわ会 ならまちリハビリテーション病院 第2報（最終報））

医療法人せいわ会 ならまちリハビリテーション病院の1つの入院病棟において、新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案が発生し、濃厚接触者等に対して健康観察を行ってきましたが、当該期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから当該院内感染（クラスター）事案は終結しました。

1 発生場所

医療法人せいわ会 ならまちリハビリテーション病院
（所在地 奈良市杉ヶ町57-1）

2 感染者の概要

(1) 経緯

8月22日、病院内の1つの入院病棟に勤務している職員1人が発熱等を認め、検査を行ったところ感染が判明しました。当該入院病棟の職員及び入院患者を対象に検査した結果、入院患者6人及び職員2人（初発感染者1人を含む）の計8人の感染を認めました。

(2) 感染者（計8人）

ア 入院患者6人（市内3人、市外3人）

【内訳】性別：男性4人、女性2人

年代：60代1人、70代1人、80代4人

イ 職員2人（市内1人、市外1人）

【内訳】性別：男性1人、女性1人

職種：医療技術者2人

年代：20代2人

※第1報（8月30日）以降、新たに入院患者2人の感染が判明しています。

3 病院の対応

- ・ 8月23日～
 - ・ 当該入院病棟の消毒を実施。
 - ・ 当該入院病棟の入院患者及び職員に検査を実施。
 - ・ 感染予防策の強化、徹底。
 - ・ 当該入院病棟の新規入院を中止。
- ・ 9月11日～
 - ・ 当該入院病棟の通常の病院機能を再開。

4 市の対応

逐次聞き取り調査を行い、感染状況及びその対応策を協議しました。

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、特段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。